

質問回答書

回答日: 令和8年2月17日

案件名称: 大阪市ホームページ運用管理システム再構築及び運用保守業務委託

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
1	資料2 業務委託仕様書	27	4.1.1. 現行サイト概要	現行サイトで使用しているCMSは何ですか。	現行サイトで使用しているCMSはUDFaceです。
2	資料2 業務委託仕様書	35	5.2.7 移行要件(1)⑦	移行対象として、「(ウ) CMS外コンテンツ数 17,000件(約61GB)」の記載がありますが、これらは新CMSに取り込む必要はありますか。それとも現状と同じく、CMSに取り込まずに新サーバに配置・公開する形になりますか。	「CMS外コンテンツ(約17,000件/約61GB)」の取扱いは、原則としてCMSに取り込まず新サーバへ配置し公開を想定しています。
3	資料1 入札説明書	5	9 関係資料の貸与	関係資料の貸与方法はどのようになりますでしょうか。	基本的には、本市の大容量ファイル送受信サービスにより送付します。この方法により難しい場合は、入札説明書「3 契約担当」と対応方法をご相談ください。
4	資料1 入札説明書	6	11 提案書の作成・提出及びヒアリング(5)	ヒアリングの参加人数の制限などはありますか。また、大阪市様側のヒアリング実施者は何名で、どのような方を公表していただけますでしょうか。	ヒアリングはWebでの開催になりますので、参加人数及び参加場所(複数接続可)の制限はありません。本市側は「情報発信等最適化施策」に基づく業務を担当するデジタル統括室及び政策企画室の担当者が参加予定ですが、参加者数および氏名・役職は公表しません。
5	資料1 入札説明書	6	12 入札手続き等 (1)ウ	郵便等による入札の場合は封筒を二重封筒とし、入札書を送付する。とありますが、入札書を持参する場合も封印した封筒で提出となりますか。また、入札書封筒の作成方法は、特に指定はございませんでしょうか。	入札の場所において入札を行う場合、入札書を封筒に入れるかどうかは指定しません。また、封筒の作成方法の指定もありません。
6	資料2 業務委託仕様書	3	1.3. 現行システムの課題 (1)②	「本市HPに登録されているコンテンツ量は、約4万8千件(令和7年11月時点)」「※本書においては、「コンテンツ」は記事ページを指し、「ページ」はカテゴリページや記事ページを含む、サイト内の全てのページを指す。」と記載があり、P36ページには、「CMSページ数 約9万件」と記載がありますが、多いように思いますが、4万2千件はカテゴリページになるのでしょうか。	移行対象となる公開中CMSページ数 約9万件の内訳は次のとおりです。 ①コンテンツ(記事ページ) 約48,000件 (公開終了予定のものを除く) ②コンテンツ分類(カテゴリ)、自動作成ページ、各管理者作成ページ 約42,000件 (カテゴリページ、組織別で整理されたカテゴリページ、組織一覧、イベントカレンダー、新着、報道発表、サイトマップ、大阪市公報、テンプレート作成ページの一覧メニュー、所属トップページ 等) なお、未公開のCMS管理ページ数 約32,000件については、大半のページは公開終了したものや公開予定のないページのため移行不要ですが、公開待ち(今後公開予定)の一部コンテンツは移行対象となります。なお、移行時点で公開終了予定のページも移行対象外となりますので、基準日や取扱いは移行方針策定時に協議の上決定します。
7	資料2 業務委託仕様書	13	2.4. 構築及び運用保守工程における成果物	大阪市情報システム開発ガイドラインのリンク先がありませんが、提供していただくことは可能でしょうか。	URLについては公告後に変更があったため、仕様書を修正しております。 【新: https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000671504.html/ 旧: https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000468455.html 】
8	資料2 業務委託仕様書	24	3.3.2. デザイン (2)デザイン対象	デザイン対象として(ア)市トップページデザインの作成、(イ)区トップページデザインの作成、(ウ)その他デザイン案の作成とありますが、(ウ)に記載のある通り、サブサイトの改修対象となるのは、市会のみで相違ないでしょうか。	ご認識のとおり、サブサイトとしての位置づけは市会のみです。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
9	資料2 業務委託仕様書	36	5.2.7. 移行要件 (3)移行作業①	「現行システム側からのデータエクスポートが必要な場合は、本市と別途協議の上、対応を定めること。」と記載がありますが、費用が発生せず提供していただけるのでしょうか。その場合、何回まで提供可能なのでしょうか。 また、上記現行システム側からのデータエクスポートではなく、移行するページに対して実データ(HTML、PDF、画像など)を費用が発生せず提供していただくことは可能でしょうか。その場合、何回まで提供可能なのでしょうか。	現行システムからのデータエクスポートについて、受注者の費用負担はありません。HTML/PDF/画像等の実データ提供について、提供可否・形式・回数は同様に協議の上決定します。
10	資料2 業務委託仕様書	36	5.2.7. 移行要件 (3)移行作業④	「新システムへ移行する全てのCMS外コンテンツについて、引き続き利用できる状態にすること。」とありますが、データはどのような形で提供していただく想定でしょうか。	CMS外コンテンツの提供形態はディレクトリ構成を保持したファイル一式(ZIP等)をファイル送受信サービスや媒体により提供します。詳細(階層、命名規則、メタ情報の有無等)は移行設計時に協議の上決定します。
11	資料2 業務委託仕様書	45	図表5.4.1.1 主な運用作業一覧	運用作業の定例業務に「記事生成時間」と記載がありますが、何の時間を想定されているのでしょうか。 他自治体様ではあまりない項目になります。	「記事生成時間」は、HTML生成に要する時間をいいます。
12	資料2 業務委託仕様書	54	7.1再委託(3)	なお、元請の契約金額が1,000万円を超え契約の一部を再委託しているものについては再委託相手先、再委託内容、再委託金額を公表する。 とありますが、ホームページ等で情報が公開されるという認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。再委託しているものについては、入札契約情報等の公表に関する要綱に基づき、大阪市ホームページ「デジタル統括室再委託状況」においてその内容を公表します。
13	資料2 業務委託仕様書	56	生成AI利用に関する特記仕様書	「生成AI機能が付加された検索エンジンやサイトは、一般的にインターネットで公開されている最新の情報を検索する目的でのみの利用とし、生成AIによる回答を得る目的での利用を禁止する」と記載がありますが、検索結果のページの内容から検索された内容に対して文章を生成する機能も禁止ということでしょうか。 機能要件67には、「市民等が検索を行った際に、検索結果をAIによって要約した情報を表示し、その要約情報は実際のコンテンツに基づいて作成されること。さらに、その情報と共に該当するURLも提供されるように設定されていること。」とありますが、このような使い方は禁止されていないという認識でよろしいでしょうか。 例:「大阪市の開庁時間」と検索して、「大阪市の区役所の基本的な開庁時間は月曜～木曜が9:00～17:30ですが、毎週金曜は19:00まで延長(一部業務除く)、毎月第4日曜も9:00～17:30(一部業務・施設除く)開庁しています。」などを生成。	特記仕様書に記載している内容は、受注者が受注業務において生成AIを利用する際の遵守事項を規定しているものであり、本業務委託にて導入するシステムの機能要件に適用されるものではありませんので、機能要件67のような使い方は禁止していません。
14	資料2の別紙1 機能一覧	1	18 システム全般 システム連携 SNS連携	「18 ホームページにSNSプラグインを設置する機能を有すること。また、SNSプラグインの設置箇所は調整可能であること。」とありますが、SNSプラグインとはどのようなイメージを想定されているのでしょうか。	「SNSプラグイン」は、X/Facebook/LINE等の埋め込みを想定しています。
15	資料2 業務委託仕様書	6	1.4. 目的	「60秒以内に目標の情報にたどりつく」の達成確認について、測定シナリオやユーザー属性等についての指定の記載がないかと思いますが、これらの前提も含め提案させて頂く認識で相違ないでしょうか。	ご認識のとおりです。
16	資料2 業務委託仕様書	15	2.4. 構築及び運用保守工程における成果物	「システム評価報告書」について、提出時期は「協議により定める」記載されておりますが、協議ポイントは時期のみであり、評価項目については「5.2.9.その他留意事項」に記載がある「大阪市情報システム開発ガイドライン」に記載された項目の想定で認識相違ありませんでしょうか。 また、「大阪市情報システム開発ガイドライン」は https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/cmfdes/contents/0000671/671504/juhohSystem_kahatosGuideline.pdf のファイルで合っておりますでしょうか。 ※仕様書に記載のURL (https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000468455.html) にアクセスすると「ページが見つかりません」と表示されます。	ご認識のとおりです。 なお、URLについては公告後に変更があったため、仕様書を修正しております。 【新: https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000671504.html / 旧: https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000468455.html 】
17	資料2 業務委託仕様書	18	2.5.2. AI の活用に関する提案	AIチャットボットを導入する場合、学習データの整備(Q&Aデータの作成等)はベンダーの作業範囲か、市からの支給になるのでしょうか。 また、システム導入および前提となるデータ整備・連携は同一予算内での対応となるでしょうか。	AIチャットボットについてはシナリオ型ではなくAI型を想定しています。また、Q&Aデータは既存のFAQデータなどは提供可能ですが、チャットボット専用のQ&Aデータやシナリオの作成は行いません。なお、学習ソースは、HPコンテンツに加え、本市が指定する各種FAQやマニュアル・ガイドライン等のドキュメント等を想定します。 システム導入、データ整備・連携は本調達の役務に含むため入札金額に含んでください。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
18	資料2 業務委託仕様書	19	3.2. 他システム連携要件 3.2.2. 大阪市統合プラットフォーム	「3.2.2大阪市統合プラットフォーム」に記載のとおり、本システムは大阪市統合プラットフォーム(ServiceNow)からマスタ情報を受け取り、共通公文書管理サービスと連携する必要がありますと理解しております。 本要件において想定されている連携方式について、以下の点を教えてください。 ・マスタ情報の連携は、ファイル連携等との記載がありますが、CSV等の定期または随時のバッチ連携を想定されていますでしょうか。 ・API 連携等のリアルタイム連携は想定外との理解でよろしいでしょうか。 ・連携の実行タイミング(手動/自動)や、全件/差分連携について、現時点で前提条件がございましたらご教えてください。	現時点ではファイル連携(CSV等を職員が抽出し、CMSへのファイルアップロード等による取込)を想定していますが、CSV、xml、jsonなどの他の連携も調整可能です。
19	資料2 業務委託仕様書	21	3.2.3 共通公文書管理サービス	「記事承認が共通公文書管理サービスで実施された後に本システムで公開許可が自動反映される仕組み」の実現可否が検討中となっているが、提案時には「自動反映あり」を前提とすべきか、手動反映の運用も想定すべきでしょうか。	提案においては「自動反映あり」を前提としてください。なお、詳細な実現方式は本市と協議の上決定します。
20	資料2 業務委託仕様書	21	3.2.3 共通公文書管理サービス	連携APIの設計は提案範囲内でしょうか。	連携APIは共通公文書管理サービス側で設計するため、提案範囲外です。
21	資料2 業務委託仕様書	36	5.2.7. 移行要件(3) 移行作業①	現行システムからのデータエクスポートについて、「本市と別途協議の上、対応を定める」との記載がございますが、エクスポートを依頼する場合に提供可能なデータの範囲と形式(CMSからのコンテンツデータ自体の出力が可能か、あるいはCSV形式での一覧のみか等)について、現時点での想定をご教えてください。	エクスポートで提供可能な範囲・形式は、現行システムの機能・制約を踏まえ、提供可能なものを協議の上決定します。
22	資料2 業務委託仕様書	36	5.2.7. 移行要件(1) 移行・切替に関する前提条件⑦	移行対象の把握及びサイト構造の検討のため、現行の大阪市ホームページ(市及び各区)の全ページ構成が分かるページリストを提供いただくことは可能でしょうか。	ページリストについては契約締結後に提供します。なお、市共通、各区役所・各区消防署等子サイトのサイトマップはホームページにて公開しておりますので、参考してください。【 https://www.city.osaka.lg.jp/main/site_policy/0000000156.html 】
23	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件	(3) 移行作業⑥において、コンテンツの移行にあたって、(～一部省略～)達成基準に適合しているかチェックを行い、結果について本市に報告すること。また、適合していないものについては、適合するよう処理を行うこと。とありますが、移行対象の全てのページのアクセシビリティチェックを手動で行うのは必須でしょうか。ウェブアクセシビリティ基盤委員会のJIS X 8341-3:2016「JB.1 適合試験の要件」に対する補足事項、「d) ウェブページを代表するウェブページとランダムに選択したウェブページを併せて選択する場合」に基づき、主要ページとランダムサンプリングを合わせた60ページ程度をチェックする形でよろしいでしょうか。	達成基準に適合させるために必要な処理は、移行対象のすべてのページに対して実施してください。
24	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件	現行サイトのウェブアクセシビリティページにて対象範囲外としている ・PDF、Word、Excelなどのファイル ・動画ファイル ・バナー広告 ・SNS(ソーシャルネットワークサービス:Facebook、X等)のプラグインを利用して情報を提供しているページは今回も対象外としてよろしいでしょうか。	アクセシビリティ方針におけるPDF等、動画、バナー広告、SNSプラグイン等の取扱いは、原則として現行方針を踏襲し、対象外とします。
25	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件(3) 移行作業③・④	CMS外コンテンツ(HTMLページ等)の移行について、これらは新環境へ静的ファイルとして配置し閲覧可能な状態にする(そのまま移管する)想定でしょうか、あるいはCMSの管理下に取り込む(CMS化する)想定でしょうか。また、現状とマークアップが異なる場合の対応方針についてご教えてください。	CMS外コンテンツの移行については前者の想定です。ファイルは項番10の回答のとおり提供します。
26	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件(3) 移行作業⑦	現行コンテンツにおいては、作成担当者により強調表現(赤字、太字等)のバツつきがあることが想定されます。移行及びデザイン統一の観点から、これらの強調表示を特定のルール(UI/UXガイドライン等)に基づき画一化する処理を行ってもよろしいでしょうか。	移行にあたって期待している作業のため、問題ありません。
27	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件(3) 移行作業⑤・⑥	移行作業におけるリンク切れ修正、代替テキスト付与、アクセシビリティ適合対応について、「移行する全コンテンツ」が対象となる認識でよろしいでしょうか。作業工数の観点から、例えば「直近3年分」を対象を絞るなど、協議の上で対応範囲を調整することは可能でしょうか。	リンク切れ修正、代替テキスト付与、アクセシビリティ適合対応の対象範囲は、原則として仕様書に定める移行対象コンテンツ全件を対象としますが、工数・優先度を踏まえ、段階的対応(閲覧数が多い順等)については協議により調整も可能です。
28	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件(3) 移行作業⑦	移行に伴うページの統廃合(不要なコンテンツの削除等)の提案に対し、採否の最終的な判断は「デジタル統括室」が一括して行われるのでしょうか、あるいは「各局・各区の担当者」が個別に判断されるのでしょうか。協議及び承認のプロセスについてご教えてください。	ページ統廃合等はデジタル統括室(及び政策企画室)が作業をとりまとめ、原則として各局・各区の所管で判断します。ただし、全市的なルールや基準を設け、一括削除を実施する場合もあると想定しています。
29	資料2 業務委託仕様書	27	4.1. 前提条件	「現行システムは、大阪市共通クラウド(Microsoft Azure)が提供する公開系システム用IaaS基盤上で稼働している。」との記載がありますが、本システムのリニューアル後においても、Microsoft Azureを継続利用することが必須要件となりますでしょうか。 また、要件を満たす場合に限り、他のIaaSクラウドサービス(AWSなど)を採用することは認められますでしょうか。	Microsoft Azureの継続利用は必須ではありません。要件を満たすIaaSクラウドサービスを採用ください。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
30	資料2の別紙1 機能一覧	3	78 機械翻訳明記	「機械翻訳対応言語は、主要な国際言語を含め、できる限り多くの言語に対応すること。」と記載がありますが、対応言語は現状サイトと同等程度より多くなることを想定されていますでしょうか。	機械翻訳の対応言語は、原則として現行同等以上を求め、主要国際言語を含め可能な限り多言語対応としてください。具体言語数・対象言語は提案にて示し、運用上の必要性を踏まえ協議の上決定します。
31	資料2の別紙5 非機能要件定義書	1	1.1. システム方式に関する事項	本システムを IaaS または PaaS により提供する場合、クラウドサービスの特性上、IaaS/PaaSの利用料が月々の利用状況に応じて変動することが想定されます。 「7.3.3.経費積算にあたっての留意事項」に「追加費用の発生は想定していない」と記載がありますが、IaaS/PaaSの利用料について、月次の実績に基づいた変動請求はせず、利用料を含めた定額での請求とする前提で問題ございませんでしょうか。	本契約は総価契約のため、支払総額は確定しております。また、支払についてIaaS/PaaS利用料の変動があり得る場合であっても、本調達の見積・契約は原則として定額(固定)での請求を想定しています。
32	資料2の別紙5 非機能要件定義書	2	1. システム規模に関する事項 (1) データ量 表 2 データ量 項番1	「CMS管理ページ」の内訳として示されている「未公開のCMS管理ページ(約32,000件)」については、移行対象外であり、削除しても構わないという理解であっておりますでしょうか。「資料2業務委託仕様書」P36には「移行に用いるデータについては、公開中のコンテンツを想定する」との記載がありますが、未公開データの取扱いについてご確認させていただきます。	未公開のCMS管理ページ(約32,000件)のうち、大半のページは公開終了したものや公開予定のないページのため移行不要ですが、公開待ち(今後公開予定)の一部コンテンツは移行対象となります。なお、移行時点で公開終了予定のページも移行対象外となりますので、基準日や取扱いの移行方針策定時に協議の上決定します。
33	資料2の別紙5 非機能要件定義書	2	1. システム規模に関する事項 (1) データ量 表 2 データ量 項番1	非機能要件定義書の「CMS管理ページ数」について確認させていただきます。総数が「約90,000件」と記載されていますが、内訳として「公開中:約90,000件」「未公開:約32,000件」とあります。これは、総数が「足し上げると約122,000件だが、移行対象となる公開中の物の総数=約90,000件」との認識でよろしいでしょうか。あるいは、総数90,000件の中に未公開分が含まれている(公開中が約58,000件等の内訳となる)のでしょうか。移行対象数に関わるため、正確な総数と内訳をご教示ください。	項番6の回答のとおりです。
34	資料2の別紙5 非機能要件定義書	2	1. システム規模に関する事項 (1) データ量 表 2 データ量 項番1	非機能要件定義書に記載のある「未公開のCMS管理ページ(約32,000件)」について、移行対象とする場合、これらは外部からのスクレイピング等による取得が困難であるため、データのエクスポートによる提供をお願いしたいと考えておりますが、ご対応いただくことは可能でしょうか。	項番21の回答と同様に、未公開データを移行対象とする場合は、現行システムの制約を踏まえ、データ形式・範囲・回数について協議の上決定します。
35	資料2の別紙5 非機能要件定義書	2	1. システム規模に関する事項 (1) データ量 表 2 データ量 項番1	「未公開のCMS管理ページ(約32,000件)」について、移行対象とする場合、コンテンツ(記事)数の件数など、より詳細な内訳をご教示いただくことは可能でしょうか。	項番32の回答のとおりです。
36	資料2の別紙5 非機能要件定義書	2	1. システム規模に関する事項 (1) データ量 表 2 データ量 項番3	非機能要件定義書の「CMS外コンテンツ数」について確認させていただきます。「コンテンツ数 約17,000件」に対し「総ファイル数約1,000,000件」と記載されておりますが、この約1,000,000件のファイルは、デジタルブック等のコンテンツ(約17,000件)を構成するために付随・内包されているファイル(ページ画像や制御ファイル等)が多数存在するため、という理解でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。「総ファイル数 約1,000,000件」は、デジタルブック等(約17,000件)を構成するページ画像・制御ファイル等の付随/内包ファイルを含んでいます。また、デジタルブック以外のCMS外コンテンツについても、配信用の部品ファイル(画像・PDF等)が含まれる点が要因です。
37	資料2の別紙5 非機能要件定義書	3	1.2. システム規模に関する事項	「月間リクエスト数20億件」との記載がありますが、現行サイトにおける「月間のデータ転送量(平均および最大ピーク月)(GBまたはTB単位)」と「ピーク時の最大スループット(MbpsまたはGbps)」の実績値をご教示ください。	計測が難しいため提示できません。
38	資料2の別紙5 非機能要件定義書	3	1.2. システム規模に関する事項: サイト内検索対象ドメイン	サイト内検索機能の検索対象は、本システム(city.osaka.lg.jp)配下のページに加え、表5に記載のとおり、大阪市総合コールセンターサイト(osaka-city-callcenter.jp)配下のページも対象とするものと理解しております。外部ドメインとの検索連携について、想定されている連携方式(例:クローリングによるインデックス化、検索性API連携、既存検索基盤との連携等)がございましたらご教示ください。	外部ドメイン(コールセンターサイト等)を検索対象とする場合、現時点ではクローリングいただくことを想定しています。コールセンターサイト側詳細は現行検索の構成・制約を踏まえ、協議の上決定します。
39	資料2の別紙5 非機能要件定義書	3	1.2. システム規模に関する事項	本システムの処理件数として、年間アクセス数および月間リクエスト数(平均値)が提示されていますが、これらは通常時の利用状況を示すものと理解しております。一方で、自治体サイトの特性上、災害発生時や制度変更・緊急告知等により、事前に予測が困難な一時的アクセス集中(スパイク)が発生する可能性があると考えております。つきましては、本システムにおいて、上記のような予測困難なアクセス集中への対応を要件として考慮する必要があるか、また、想定されている前提条件や考え方(例:平均値に対する倍率、許容される応答遅延等)がございましたらご教示ください。	災害時等のアクセス集中(スパイク)への対応について考慮は必要ですが、前提条件(倍率、許容遅延等)はSLAにて本市と合意するものと考えております。
40	資料2の別紙5 非機能要件定義書	7	1.7 継続性に関する事項	災害対策(DR: Disaster Recovery)の構築方式について、あらかじめ指定されている方式はございますでしょうか。(例) ・バックアップ/リストア方式 ・パイロットライト方式 ・ウォームスタンバイ方式 ・マルチサイト/アクティブアクティブ方式 指定がない場合、大規模災害発生時におけるRTO:3日以内、RPO:停止直前の最新バックアップを満たすことを前提として、当方から最適な構築方式を提案する形で差し支えないか、ご教示ください。	特に指定はありませんので、ご認識のとおり最適な構築方式をご提案ください。
41	資料1 入札説明書	6	11 (5)ヒアリング	審査員は何名でしょうか。また、役職・所属をご教示ください。	項番4の回答のとおりです。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
42	資料2の別紙5 非機能要件定義書	2	1.2(1) 表2:データ量 項番1:CMS管理ページ数	90,000ページのうち、記事ページが48,000ページとありますが、残りの42,000ページは一覧ページでしょうか。また、非公開の32,000ページは移行対象外という認識で間違いではないでしょうか。	項番6・32の回答のとおりです。
43	資料2の別紙5 非機能要件定義書	4	1.3(2)応答時間及びパフォーマンス要件 表6:パフォーマンス要件 項番2:バッチ処理	日時バッチ処理を毎日午前0時～午前6時までに行わなければならない理由をご教示ください。	日次バッチを0:00～6:00に実施する理由は、利用が比較的少ない時間帯に負荷を集中させるためですが、システムの制約がある場合や、他に合理的な時間帯や手法がある場合は提案も認めます。
44	資料2の別紙5 非機能要件定義書	4	1.3(2)応答時間及びパフォーマンス要件 表6:パフォーマンス要件 項番4:キャパシティ	「毎年コンテンツが約15%増加した場合でも、運用保守業務委託期間の5年間は対応可能なスペックを備え」との記載がありますが、仕様書に記載のある196GBを最低(基準値)として見込めばよろしいでしょうか。	容量見込みは、仕様書・非機能要件に示す基準値(196GB)を最低限の前提とし、年15%増加を見込んだ5年間の拡張性を満たす提案としてください。最終のサイジングは設計時に協議の上決定します。
45	資料2の別紙5 非機能要件定義書	7	1.7(1)A 予測可能な障害発生時	非機能要件定義書における障害の定義について、以下の理解で相違ないかご確認ください。 予測できる障害: 一時的な過負荷など、事前に想定・対策可能な障害 予測できない障害: 突発的な機器故障やシステムエラーなど、事前の予測が困難な障害 単一障害発生時: システムを構成する単一のコンポーネント(サーバ、ネットワーク機器等)に障害が発生した状態	ご認識のとおりです。
46	資料2の別紙5 非機能要件定義書	8	1.7(2)ウ データバックアップ	「バックアップしたデータの保管場所にはアクセス権限を付与し、管理者以外がアクセスできないようにすること」との記載がありますが、ここでいう「管理者」は受注者を指すという認識で相違ないでしょうか。	「管理者」には、受注者の運用保守担当者に加え、本市のシステム管理責任者も含まれます。 日常的なバックアップ業務やリストア作業は受注者が行いますが、データの所有権は本市に帰属するため、緊急時や監査時に本市がバックアップデータへアクセス可能な権限(特権ID等)も設定・維持いただく方針ですが、詳細は協議の上決定します。
47	資料2の別紙5 非機能要件定義書	9	1.8(2)セキュリティ要件 表10:セキュリティ要件 項番8:ウイルス対策	「ウイルス検知時にシステム管理者に対する通報と、システム利用ユーザアカウントへの通知」が必要と記載がありますが、システム管理者を受注者、システム利用ユーザアカウントを大阪市の管理者様という認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりですが、製品の制約により実施が難しい場合は運用による対応に代えること(ウイルス検知を受注者で検知後、速やかに本市に通知するなど)も認めます。
48	資料2の別紙5 非機能要件定義書	12	(3)アクセシビリティ 表13	市サイトは JIS X 8341-3:2016 AAに準拠することを求めています。付属するチャットボットも同様にキーボードだけの操作、スクリーンリーダーなどの対応を求められるという認識でよろしいでしょうか。	チャットボット等、サイトに付属する機能についても、原則としてJIS X 8341-3:2016 AA相当のアクセシビリティ(キーボード操作、スクリーンリーダー等)に配慮した実装を求めますが、対応範囲は採用製品・実装方式により協議の上決定します。
49	資料2の別紙5 非機能要件定義書	16	1.12(2) 研修概要 表15:全体研修 3:システム管理者	本業務では保守・バックアップ・リカバリは受注者の業務であると認識しております。研修の内容には含まれないという認識でよろしいでしょうか。	本市システム管理者の作業がない場合は研修に含む必要はありません。
50	資料2の別紙5 非機能要件定義書	17	1.12(4) 研修の方法	研修の実施にあたり、「予備を見込むこと」と記載されていますが、具体的に何回分の予備を見込めば良いでしょうか。	「予備」の回数は各研修につき1回分を想定していますが、受講者の増減や再受講ニーズを踏まえ、詳細は協議の上決定します(提案で目安提示可)。
51	資料4 提案書作成要領	1	1. 1 提出資料及び内容	3.2.1サイト設計・3.2.2デザインについては図表だけではなく、提案自体を切り離して別冊として作成してもよろしいでしょうか。	原則としてデザイン・サイトマップ等の図表のみとしますが、図表と不可分な提案内容については別冊に記載いただいても問題ありません。なお、この場合も、本編及び別冊のページ数は要領のとおりです。
52	資料2 業務委託仕様書	34-35	5.2.4. 各種システム環境	「職員が新システムの操作習熟のため、本番稼働の前後6か月間、自由に操作できる研修用環境を準備すること。」とありますが、「本番稼働の前後6か月」とは、本番稼働の3か月前、本番稼働後3か月の計6か月間という認識で間違いではないでしょうか。	基本的にはご認識のとおりです。ただし、職員研修の実施時期および開発・移行スケジュールに応じて前後の配分は変動するため、研修用環境の提供開始日・提供終了日(前後の配分を含む)は、協議の上決定します。
53	資料2 業務委託仕様書	34-35	5.2.4. 各種システム環境	「各環境は本番環境と同一ネットワーク上に構築し、連携を含めた検証が可能な設計とすること。」とありますが、自動翻訳・サイト内検索、アクセス解析など研修用環境では連携が難しいものもございます。最低限、連携が必要なシステムをご教示ください。	研修用環境は職員のCMS操作習熟が主目的ですが、外部連携機能の操作も含めて確認できることを想定しています。なお、外部サービスやネットワーク要件等により研修用環境で本番同等の連携が難しい場合は、趣旨を満たす代替案(例:簡易連携・ダミーデータでの動作確認、同等挙動が確認できる検証用URLやデモ環境の提示等)を受注者より提示のうえ、協議の上決定します。
54	資料2 業務委託仕様書	10	2.2.2. スケジュール(予定)	「令和9年度第一四半期」に他システム連携テストとありますが、API仕様確定とテスト環境利用開始は、それぞれどのくらいの時期になる見込みでしょうか。令和9年度第一四半期にテストを行う場合、令和8年度中に連携機能の開発を終えている必要がありますが、開発の期間はどの程度いただけるでしょうか。	共通公文書管理サービスが提供する決裁連携機能等に係るAPI仕様については、令和8年6月～9月にかけて基本設計及び詳細設計を行い、同年10～12月に共通公文書側での開発・テストを行う予定です。詳細は着手後、関係者調整のうえ工程を確定します(提案時は想定工程を提示してください)。
55	資料2 業務委託仕様書	14	表内 項番9 移行設計書	大阪市情報システム開発ガイドライン (https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000468455.html) がリンク切れしており、参照できません。 ご提供いただけますでしょうか。 こちらに関して質問が出た場合は、改めて質問させていただくことはできますでしょうか。	URLについては公告後に変更があったため、仕様書を修正しております。なお、ホームページ上には掲載しており、閲覧可能であったため、質問期限を過ぎた質問は受け付けません。 【新: https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000671504.html / 旧: https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000468455.html 】
56	資料2 業務委託仕様書	17	図表 2.4.3 プロジェクト管理におけるドキュメント一覧	「大阪市 ICT プロジェクト管理ガイドライン」をご提供いただけますでしょうか。 こちらに関して質問が出た場合は、改めて質問させていただくことはできますでしょうか。	当該ガイドラインは名称が変更となっております。なお、ホームページ上には掲載しており、閲覧可能であったため、質問期限を過ぎた質問は受け付けません。 【新:大阪市情報システムプロジェクト管理ガイドライン / 旧:大阪市 ICT プロジェクト管理ガイドライン】

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
57	資料2 業務委託仕様書	19	3.2. 他システム連携要件	CMSサーバから大阪市統合プラットフォーム、共通公文書管理サービスへの接続は、インターネット経由でアクセス可能でしょうか。その場合はIP制限などの措置でつなぐことが可能でしょうか。他にも条件があればご教示ください。インターネット接続ではなく、専用線が必要になる場合は、専用線のセキュリティ上の条件など、詳細仕様についてお示しください。	インターネット経由でのアクセス許可の設定は可能です。セキュリティ保護の観点から、具体的な設定方法は受注者決定後にお伝えします。
58	資料2 業務委託仕様書	19	3.2. 他システム連携要件	開発時、大阪市統合プラットフォーム、共通公文書管理サービスの共通公文書管理サービスのテスト利用が必要になりますが、専用のテスト環境や、テストデータはご用意いただけますでしょうか。 また、5.4. 運用作業 16 システム構成に「本番環境・検証環境の維持管理を行うこと」とあるため、検証環境から大阪市統合プラットフォーム、共通公文書管理サービスの接続テストができる状況を維持する必要があるかと存じます。テスト環境は運用中もそのままご提供いただけるという認識でよろしいでしょうか。	各種環境(総合テスト、教育、ユーザー受入等)を具備しており、テスト環境の提供と継続利用が可能です。 テストデータについては、決裁連携における「起案用」のレコード(レコードの作成元がCMSであるもの)はCMS側で準備いただく必要がありますが、ステータス取得用のテストデータはテスト効率性の観点から共通公文書管理サービスにて準備する想定ですが、現時点では未確定です。 CMS側のテスト環境はCMSでご準備ください。
59	資料2 業務委託仕様書	19	3.2. 他システム連携要件	大阪市統合プラットフォーム、共通公文書管理サービスのテスト環境へ弊社社内から接続することは可能でしょうか。可能な場合、インターネット接続、専用線接続など、条件をお示しください。	項番57の回答のとおりです。
60	資料2 業務委託仕様書	19	3.2.1. 大阪市オープンデータポータルサイト	現在のオープンデータサイト (https://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu290/opendata/)は市の公式サイトと同じドメインですが、今後は現在の運用業者にて別ドメイン、別サーバにて運用となるでしょうか。(今回の構築対象外と認識しております)	オープンデータポータルサイトについては、再構築後も市の公式サイトと同じドメインでの運用(CMS外コンテンツ)となります。そのため、サイトの構築は不要ですが、その他のCMS外コンテンツと同様の作業は必要です。
61	資料2 業務委託仕様書	19	3.2.1. 大阪市オープンデータポータルサイト	オープンデータサイト連携用ファイルの更新は1日1回でよろしいでしょうか。	原則1日1回を想定しています。手動による臨時更新の可否については別途協議の上決定します。
62	資料2 業務委託仕様書	19	3.2.1. 大阪市オープンデータポータルサイト	オープンデータサイトとの連携方式について、市公式サイト公開領域に連携用ファイルを公開しておけば、オープンデータシステム側がhttpsプロトコルでデータを取得に来るという理解でよろしいでしょうか。	具体的な取得方法は別途協議にて決定します。なお、現時点では、項番1～2の連携用ファイルを大阪市ホームページ運用管理システム側が一定周期で配置し、そのデータファイルを大阪市オープンデータポータルサイト側が取得(ダウンロード)する運用を想定しています。
63	資料2 業務委託仕様書	20	3.2.2. 大阪市統合プラットフォーム	図表 3.2.2.1の「公文書管理における文書保管単位のマスタ」とは具体的にどのようなデータでしょうか。項目の内訳と、サンプルデータなどをお示しください。また、一度の連携でどのくらいのデータ量を連携する見込みでしょうか。	検討段階のため確定ではありませんが、現時点の想定については貸与資料「標準機能規定書」における部門マスタを参照ください。データ量については数百キロバイトの見込みです。
64	資料2 業務委託仕様書	20	3.2.2. 大阪市統合プラットフォーム	図表 3.2.2.1に「組織改編時(月次～半年に一度程度)」とあるのは、現在このような頻度で組織改編が行われているということでしょうか。	ご認識のとおりです。なお、機構改革に伴う大規模な組織改編は4月に実施することが多く、以後は仕様のとおり頻度です。
65	資料2 業務委託仕様書	20	3.2.2. 大阪市統合プラットフォーム	図表 3.2.2.1のファイル連携というのは、CSVファイルダウンロードのようなイメージでしょうか。それとも、APIアクセスによるjsonデータ等のイメージでしょうか。設計が異なるため教えてください。	項番18の回答のとおりです。
66	資料2 業務委託仕様書	22	3.2.3. 共通公文書管理サービス	図表 3.2.3.2 共通公文書管理サービスとの連携では、コンテンツ修正時に差し戻しの処理が記載されておりませんが、コンテンツの修正を行うにはステータス変更などの判断軸が必要になりますので、差し戻し処理が必要かと存じます。文書管理システムで差し戻しが行われた後、差し戻し状態がCMSに連携された後にコンテンツ修正が可能となる想定ですが、よろしいでしょうか。	共通公文書管理サービスが提供するAPI仕様については、Pull型を前提としており、各連携先システムから連携ステータス等の情報を取得していただいた上で差替え可能な場合に連携を受け付ける仕様としています。したがって、共通公文書管理サービス側の差し戻しステータスを連携先システムにPush送信することはありません。
67	資料2 業務委託仕様書	22	3.2.4. その他連携	「CMSで作成したコンテンツデータは、単にホームページで公開するのみならず、本市所属が所管するサービスや、民間のサービスをはじめとしたさまざまなサービス及びAI検索等に有意義に活用することを理想としているため、本仕様を十分理解し、連携性・拡張性の高いシステムとすること。 例: デジタル統括室において進める総合サービスポータル構想(今後構築検討)により、利用する市民一人ひとりにパーソナライズされた最適な行政サービスの情報発信の実現を目指しており、CMSコンテンツを活用したプッシュ配信を予定している。」 とありますが、拡張のタイミング(仕様確定時点)で別途お見積りとの認識でよろしいでしょうか。	コンテンツ情報を連携するような汎用的なAPI等の連携手法の構築は本契約の範囲内とご理解ください。しかし、連携先のサービスによっては個別の開発も必要と考えられるため、追加開発にかかる別途契約については協議の上決定します。
68	資料2 業務委託仕様書	25	3.3.2. デザイン (8)	別紙4「UI/UX ガイドライン(案)」へ反映について、修正可能なデジタルデータでいただけるか。	契約締結後に提供します。
69	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件 (3)移行作業 ④	「新システムへ移行する全てのCMS外コンテンツについて、引き続き利用できる状態にすること。」とありますが、CMS外コンテンツのページの修正は発生しない想定でよいでしょうか。もし、修正を想定されている場合は具体的な内容とボリュームをご教示ください。	CMS外コンテンツのページ修正は役務範囲外です。
70	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件 (3)移行作業 ④	管理外コンテンツは静的コンテンツのみになりますでしょうか。また、管理外コンテンツの一覧をいただくことはできますでしょうか。	CMS外コンテンツは、主にhtml・PDF・画像等の静的コンテンツを想定しています。一覧は契約締結後に提供します。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
71	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件 (3)移行作業 ⑥	「コンテンツの移行にあたって、JIS X8341-3:2016の適合レベルAA及びレベルAAAの「2.1.3 キーボード(例外なし)」と「2.3.2 3回のせん(閃光)」、さらに「Web Content Accessibility Guidelines(WCAG)2.1及び2.2」で追加された適合レベルA及びAAAの達成基準に適合しているかチェックを行い、結果について本市に報告すること。」 とあるが、miChecker等のチェックツールで全ページを確認したうえで、ウェブアクセシビリティ基盤委員会が定める試験実施ガイドラインに従い、目視チェックを行うことで、[適合]と判断して良いでしょうか。	miChecker等のツールを活用して自動チェックを実施いただくことは差し支えありません。ただし、本件は特定ページのみの適合をもって可とするのではなく、コンテンツ移行にあたってはサイト内の全コンテンツが、指定の適合レベルを達成している必要があります。
72	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件 (3)移行作業 ⑥	「また、適合していないものについては、適合するよう処理を行うこと。」とあるが、移行実施計画書で取り決めた内容の処理を行うという認識でよろしいでしょうか。 例：ページ内で使用されている画像の再作成は行わない。	「適合していないものについては、適合するよう処理を行うこと」とは、移行対象となる全コンテンツについて、不適合箇所を解消し、要求される適合レベルを満たす状態に是正することを受注者に求める趣旨です。原則として、適合に必要な対応は受注者にて実施してください。なお、ロゴや画像等受注者側で加工・再作成が困難なものに起因する不適合については、是正対象外とし、指摘事項として報告いただく扱いで構いません。
73	資料2 業務委託仕様書	47	図表5.4.1.1 主な運用 作業一覧 項番19:ヘルプデスク 業務	報告書の提出日が毎月5日までとなっているが、5営業日までという認識で問題ないでしょうか。 毎月5日となると、正月・祝日などご対応が難しい場合があるかと思えます。	原則として仕様書のとおりですが、ご意見のとおり対応が難しい場合もあると認識しておりますので、詳細は契約後に協議の上決定します。
74	資料2 業務委託仕様書	50	5.5.3 (3)	「年一回程度脆弱性診断を実施し、脆弱性があると認められた場合は改善措置を行うこと」とあります。 脆弱性診断は自治体自身で行うことが多いが、受注者が実施する想定でしょうか。	本件における脆弱性診断は、受注者において実施することを想定しています。本項目の意図は、アプリケーションの保守責任者として、継続的にセキュリティ品質を担保いただくことにあります。なお、診断手法については、ツールを用いた自動診断レベルを想定していますが、より高度な診断が必要と判断される箇所については、適切に実施いただいて構いません。(※別途、本市が第三者機関によるセキュリティ監査を実施する場合は、その結果に基づき是正が生じた場合も本項目による保守範囲に含まれます。)
75	資料2 業務委託仕様書	52-53	6. サービスレベル合意 (SLA) 項番6,7:ヘルプデスク	ヘルプデスクへの問い合わせは、システム操作方法だけでなく、運用に関するご相談や調査依頼なども想定され、内容により即答ができない場合もございます。 サービス内容と要求値については契約後に協議させていただくという認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
76	資料2 業務委託仕様書	8	2.1. 本業務の委託範囲	「DNS サーバ整備やドメインの代行申請業務は本業務範囲に含まれないが、必要な正引きDNS レコード(A・CNAME・MX・TXT)の作成を本業務受注者が実施し、本市と調整を行うことで利用できる。」とありますが、DNSサーバは大阪府情報セキュリティクラウド様で管理されているかと思えます。 受託者が大阪府情報セキュリティクラウド様のDNSサーバを操作して設定変更を行うということでしょうか。大阪府様とDNSサーバの設定内容を調整し大阪府情報セキュリティクラウド様にて作業を実施するということになりそうですでしょうか。	後者です。本市とDNSサーバの設定内容を調整のうえ、受注者は依頼書を作成し、大阪版自治体情報セキュリティクラウド側で作業を実施します。
77	資料2 業務委託仕様書	45	図表5.4.1.1 主な運用 作業一覧 項番8:サーバ認証	「市民等から直接入力させる機能を有するサーバ」と記載されていますが、現在サーバは静的なコンテンツが公開されているサーバと分けているという認識でしょうか。 リニューアル後もこの運用を続けられるという認識でよろしいでしょうか。	現在はホームページのコンテンツを公開するサーバと、市民が入力できるサーバは分けております。サーバ構成については提案の範囲内ですが、本要件に適合する提案を求めません。
78	資料2 業務委託仕様書	45	図表5.4.1.1 主な運用 作業一覧 項番8:サーバ認証	セキュリティの観点から、市民等から直接アクセスされる入力フォームと、入力されたデータを格納するデータベースは、別サーバで運用されるべきと考えますが、この認識でよろしいでしょうか。	項番77のとおり、サーバ構成は提案の範囲内ですので、セキュリティ要件を満たす構成を提案してください。
79	資料2の別紙1 機能一覧	-	126	「親ページから子ページへ段階的に詳細情報を辿る形式」とありますが、具体的なコンテンツを確認したいため、公開URLをお示しください。	「親ページから子ページへ段階的に詳細情報を辿る形式」は、親を介さないと子に遷移しないページです。 【親ページ】 https://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000651440.html 【子ページ】 https://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000614880.html
80	資料2の別紙1 機能一覧	-	127	「相互リンク領域については、コンテンツ毎に非表示設定もできること」とありますが、具体的なコンテンツを確認したいため、公開URLをお示しください。	具体例はこちらです。 【 https://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000437146.html 】
81	資料2の別紙1 機能一覧	-	225	「決裁連携しているコンテンツも含めて」とありますが、公文書管理システムとの連携を指していますでしょうか。	ご認識のとおりです。
82	資料2の別紙1 機能一覧	-	316	「大阪市防災情報システムやJアラートと連携し、緊急情報に関するコンテンツを自動で作成する機能を有すること。」とありますが、いずれもメールとして受信できるものでしょうか。 データを取得するのにAPI連携など特殊な方法があればご教示ください。	Jアラートや、本市防災情報システム等、防災情報を受信する手法は問いません。現時点ではメールもその手法の一つとして想定していますが、連携の方法については、別途協議の上決定します。
83	資料2の別紙1 機能一覧	-	-	実現可否の回答○・△・×による、減点・加点はありますでしょうか。 必須・任意 の回答内容により、落札者決定に影響はありますでしょうか。 また、必要性が必須のものに対して、×を付けると失格なるかをご教示ください。	評価方法は評価基準に従います。 また、必須機能の実現可否が×の場合にただちに失格となるものではありません。必須機能は充足する必要がありますが、これは機能そのものではなく、機能が求める目的を果たしているか、という観点で評価します。すなわち、記載の機能と同等の要件を満たす場合や、当該機能を別の機能に集約し、実質的に要件を満たす場合、システムの特性から機能として設けなくても要件を満たす場合などが考えられますので、構成に応じ、その旨を備考に記載したうえでご提案ください。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
84	資料2の別紙1 機能一覧	-	16	「LINE連携については、本市の指定する方法(別途協議)に基づき実現すること。」とありますが、LINE連携にかかる費用は本業務内に含まないということでしょうか。 また、参考までに想定されているLINE配信システムがあればご教示ください。	LINE連携にかかる費用については、本業務に含めてご提案ください。なお、現時点で拡張サービスを利用している関係上、「連携すること」と一律に記載した場合に、仕様・制約等により物理的に実現できない可能性を懸念しております。このため、実現方法は「本市の指定する方法(別途協議)」として、詳細は協議の上決定する想定です。なお、現在本市ではLINE配信システムとして「KANAMETO」を利用しています。
85	資料2の別紙1 機能一覧	-	136	Googleマップ上から座標位置を取得して、登録する方法でも問題ないでしょうか。	座標の取得手段は要件を満たせば手法は問いません。ただし、利用する地図サービスの利用規約・ライセンス遵守の上で対応してください。
86	資料2の別紙1 機能一覧	-	216	「プレビュー画面は、特定のIPアドレスや電子証明書等を用いた認証により、許可された端末以外からのアクセスを制限する等、一定のセキュリティを担保した状態でアクセス可能なURLを出力できること。」とありますが、どの様な場合に利用を想定している機能でしょうか。	公開前に職員がコンテンツ内容(レイアウトや添付ファイルなど)を確認する際に専用のURLを発行し、閲覧できることを想定しています。
87	資料2の別紙1 機能一覧	-	267	報道発表内の検索とは、キーワード検索だけでなく、発表日や行事日・カテゴリなどの複数項目での検索が必要でしょうか。またどのような項目での検索が必要でしょうか。	現時点では、現行ページと同程度の水準を基本としつつ、利用者がより検索しやすくなる位置づけの機能です。したがって、発表日・行事日・カテゴリ等の複数項目による検索を一律に求めるものではありません。具体的な検索項目(年月、所属、キーワード、カテゴリ等)やUIについては、利便性向上の観点でご提案ください。
88	資料2の別紙1 機能一覧	-	30	自治体標準オープンデータセットは現在31項目ありますが、大阪市様が運用を想定されているのはどちらのデータセットでしょうか。	最大で31項目すべてのデータセットに対応いただく必要があります。現時点では未確定のため、別途協議の上決定します。
89	資料2の別紙3 大阪市公報サイトに関する要件	2	2. 機能要件(1) 共通機能X ログイン画面	「ユーザーID」は、従前のCMSにおいて用いているIDを流用することを想定している。とありますが、このユーザーIDとパスワードはCMS以外の他システムとも連携されていますでしょうか。(例えば、大阪市統合プラットフォームの部門マスタ(庁内) などの連携が必須か、またその連携データフォーマットが決まっているか) それともCMSとのみ同じであれば問題ないでしょうか。	現在はCMS以外のシステムと連携していません。連携する場合は業務委託仕様書 図表3.3.3.1の項番3のとおり、部門マスタ(庁内)との連携が想定されますが、これについては任意の要件としています。上記は大阪市公報サイトに限らず、CMS全体のIDについても同様の考えです。
90	資料2の別紙3 大阪市公報サイトに関する要件	2	2. 機能要件(1) 共通機能X ログイン画面	ユーザーの単位は所属単位でしょうか。個人単位でしょうか。	原則ユーザーは所属単位で、システム管理者など個人で管理が必要なものについては個人単位のIDが必要です。上記は大阪市公報サイトに限らず、CMS全体のIDについても同様の考えです。
91	資料2の別紙3 大阪市公報サイトに関する要件	4	公開ページ(イメージ) a 公報一覧ページ b 公報ページ(定例号) b-2 公報ページ(号外)	公報の公開ページについても、市サイトと同様に自動翻訳の対象として構築する必要があるという認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
92	資料2の別紙3 大阪市公報サイトに関する要件	4	公開ページ(イメージ) a 公報一覧ページ	システム化前の現行ページはそのまま残して、2020年2月以前として1つのページにする とありますが、これは今回構築する前のデータはWARPへのリンクとしてバックナンバーに記載するという認識でよろしいでしょうか	仕様書の記載が誤っておりますので訂正し、ホームページ掲載文書も差し替えます。また、ご質問の内容については、現行のサイトのとおり、今回構築する前のデータのうち、当年度(令和9年度)分はCMS上に保持し、過年度(令和8年度以前)分はWARPへのリンクとさせていただきます。
93	資料2の別紙2 共通公文書管理サービス業務フロー	5	外部連携フロー	共通公文書管理サービスのアクセス方法や認証方法について、どのような手法が必要かご教示ください。	API連携を想定しております。
94	資料2の別紙2 共通公文書管理サービス業務フロー	5	外部連携フロー	共通公文書管理サービスのAPI仕様書を頂くことは可能でしょうか。現段階で難しい場合、いつ頃であれば提供いただけるでしょうか。	「共通公文書管理サービスAPI概要」を貸与資料として提供します。詳細な設計・仕様については、令和8年10月ごろに提供する想定です。
95	資料2の別紙2 共通公文書管理サービス業務フロー	5	外部連携フロー	「所定の条件を基に最終決裁者を設定」とありますが、一つの部署内に複数のルートがあるということでしょうか。複数ルートが存在する場合、どのような条件を元に共通公文書管理サービスのルートを決定すべきかご教示ください。CMS側に複数ルートを定めておき、選択できるようにするなどの措置が必要でしょうか。	連携先情報システム側で連携パターンを精査の上、API電文の中にパターン情報を含めて送信いただく想定です。
96	資料2の別紙2 共通公文書管理サービス業務フロー	5	外部連携フロー	API呼び出しのレート制限(呼び出し回数/分、回数/時等)はあるでしょうか。 また、起案・供覧開始APIで送信する添付ファイル(Base64エンコード)のサイズ上限はあるでしょうか。	API呼び出しのレート制限については検討中です。また、連携可能なファイルサイズの上限は10MB(エンコード後)です。
97	資料2 業務委託仕様書	24	3.3.2 デザイン	区サイト以外に、市政サイトとメニュー・デザインなどの異なるページはありますか。 一覧をご提供いただきたいです。 例: 大阪市区会サイト(https://www.city.osaka.lg.jp/shikai/)	現行では、市政サイト(本体)や区サイト以外にも、市会、水道局、消費者センター、選挙管理委員会、各消防署のメニューやデザイン等が異なりますが、新システムにおける別デザイン/別メニューのサイトとして想定しているのは、「区サイト」および例示いただいた「大阪市区会サイト」のみです。
98	資料2 業務委託仕様書	22	3.3.1(1) サイト構造方針案	機能一覧の項番276より、子サイトとは専用の分類体系を有し、運用管理できると読み取れますが、本業務では、24区(分類は市と共通化)と市会のみを、子サイトとして構築するとの理解でよろしいでしょうか。サイト構造を検討するにあたり必要となりますのでご教示ください。	ご認識のとおり、子サイトとして構築するのは24区と市会のみです。24区の分類については、市と24区の共通化ではなく、区の基本的なメニューを24区で共通化する想定です。各子サイトのサイトマップはホームページにて公開しておりますので、参考になさってください。 【https://www.city.osaka.lg.jp/main/site_policy/0000000156.html】

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
99	資料2 業務委託仕様書	22	3.3.1(1) サイト構造方針案	機能一覧の項番299より、CMSで管理する組織情報を元に自動作成される公開ページは連絡先・担当事務概要等を掲載する以下に例示するURLの組織紹介ページ群との理解でよろしいでしょうか？ https://www.city.osaka.lg.jp/main/soshiki_list.html https://www.city.osaka.lg.jp/somu/soshiki_list.html また、各局室が所管するコンテンツ(記事)のみで分類整理された局室ページ群については必須要件ではありません(当該局室ページ群は現行CMSで自動生成されるページであり、CMSページ数(約9万ページ)の内訳に含まれていません)。利用者にとって最適なコンテンツ構成・整理が図られるよう、現状の課題を踏まえたうえで、課題解決に資する具体的な提案を行ってください。	項番299は、ご提示いただいた例(組織一覧ページおよび各組織の紹介ページ群:連絡先・担当事務概要等を掲載するページ)を想定しており、前半のご認識のとおりです。また、各局室が所管するコンテンツ(記事)のみで分類整理された局室ページ群については必須要件ではありません(当該局室ページ群は現行CMSで自動生成されるページであり、CMSページ数(約9万ページ)の内訳に含まれていません)。利用者にとって最適なコンテンツ構成・整理が図られるよう、現状の課題を踏まえたうえで、課題解決に資する具体的な提案を行ってください。
100	資料2の別紙1 機能一覧	-	項番67、68	この要件で求められるAIによる要約情報等の生成は、仕様書p.56にある特記仕様書内にある「生成AIの利用規定」・市民や事業者向けの直接的なサービスには利用しないこと・インターネットで公開されている最新の情報を検索する目的でのみの利用とし、生成AIによる回答を得る目的での利用を禁止するには当たらないとの理解でよろしいでしょうか？ もしくは、使用確認依頼が必要な場合は、貴市所定の様式をお示しいただきたい。	ご認識のとおりです。特記仕様書に記載している内容は、受注者が受注業務において生成AIを利用する際の遵守事項を規定しているものであり、本業務委託にて導入するシステムの機能要件に適用されるものではありません。
101	資料2の別紙1 機能一覧	-	項番136	地図による位置指定での経度緯度情報の取得に際し、有償サービスのAPIを利用する場合は、受託者の負担になり本業務経費見積に含めるということでしょうか？ または、「マップナビおおさか」など連携利用は可能でしょうか？もしくは、本業務で利用可能なGoogleアカウントはございますでしょうか？	本業務で地図API等の外部有償サービスを利用する場合は、原則として本契約の範囲に含んでいただきます。連携候補についてはAPI提供の有無、利用規約、認証方式等を踏まえ、協議の上決定します。Googleアカウントは受注者にて用意し、運用いただくことを想定していますが、詳細は契約後、要件定義にて確定します。
102	資料2の別紙1 機能一覧	-	項番275～281 子サイト	子サイトの機能を用いて運用し専用デザインを制作するのは、24区役所と大阪市会のみとお見受けしましたが、この理解でよろしいでしょうか？	ご認識のとおりです。
103	資料2の別紙4 UIUXガイドライン(案)	57 59	i-1-1 ヘッダーコンテナ i-2 スマートフォン版ヘッダー	ヘッダの「防災・救急情報」をクリックすると、どこへ移動する、またはどのような情報が展開するのでしょうか。同書p61「緊急時バナー」および、機能一覧の項番315、317、318、319との関係を含め、現時点の想定をご教示ください。	現時点ではヘッダの「防災・救急情報」クリック後の遷移先や表示内容の詳細は確定していませんが、現行カテゴリの「くらし>安全・安心」などを想定しています。また、p.61「緊急時バナー」および機能一覧(項番315、317、318、319)は、主に災害時・緊急時に情報を強調表示し誘導するための機能であり、「防災・救急情報」(平常時の常設導線)とは役割を分ける想定であり、別紙4、UIUXガイドライン(案)P26、P32にある表示位置(メインビジュアル上部)を想定しています。具体的な遷移先や情報のまとめ方については、課題解決に資する提案をお願いします。
104	資料2の別紙5 非機能要件定義書	17	1.12(4)オ	1.12(2)で示された対面研修では、受講者のパソコンや研修用のシステムにアクセスするためのネットワーク環境も、原則貴市にてご用意可能との解釈でよろしいでしょうか？	本番運用時にも使用する、職員が常用しているパソコン、ネットワーク環境は用意できますが、研修実施時に本市のネットワークからシステム環境にアクセスできない場合は、受注者にてご用意ください。
105	資料5の別紙 提案書評価表	-	3.2.1 サイト設計 記述項目一覧 2	ハイレベルサイトマップとは、TOPページを第1階層として第3階層までのカテゴリーツリー案をとどの理解でよろしいでしょうか？ また、仕様書p.23の図表3.3.1.1ハイレベルサイトマップが示され参照するように記載されていますが、新ハイレベルサイトマップの提案に際し、図表3.3.1.1の位置づけや重み、特に参考とする部分などがあれば教えてください。	ハイレベルサイトマップについては、ご認識のとおり、TOPページを第1階層として概ね第3階層程度までのカテゴリーツリー(サイト構造方針案)を想定しています。また、資料2 業務委託仕様書 図表3.3.1.1は、サイト構造検討のためのたたき台(記載例)であり、当該図表の構成を前提とするものではありません。専門的知見や他事例を踏まえ、利用者にとって分かりやすく目的の情報に到達しやすい構造となるよう、局・区の役割分担やカテゴリ整理等も含め、課題解決に資する具体的な提案を行ってください。
106	資料1 入札説明書	-	全体	本業務の予定価格または予算上限額をご教示ください。提案範囲および見積金額の適正化のため、ご教示いただけると幸いです。	公正な競争入札が行われない恐れがあるため、予定価格だけでなく、予定価格が類推される情報についても提供できません。
107	資料2 業務委託仕様書	-	2.2 調達計画	構築業務と運用保守業務(5年間)の費用配分について、想定される比率や目安はありますでしょうか。見積構成の参考とさせていただきます。	業務委託仕様書 特記仕様書「債務負担行為に基づく契約の特則」をご確認ください。
108	資料2 業務委託仕様書	-	全体(現行システム)	現行システムのサーバー構成図、ネットワーク構成図は貸与資料に含まれますでしょうか。システム設計の参考とさせていただきます。	申し訳ございませんが、現行システムのサーバー/ネットワーク構成図は貸与資料に含まれません。
109	資料2 業務委託仕様書	3	1.3 現行システムの課題	現行CMSの製品名・バージョンをご教示ください。移行計画の精度向上のため必要です。	項番1の回答のとおりです。
110	資料2 業務委託仕様書	8	2.1. 本業務の委託範囲	現行サイトのアクセス解析データ(直近1年分程度)は貸与資料に含まれますでしょうか。サイト設計の参考とさせていただきます。	申し訳ございませんが、アクセス解析データは貸与資料に含まれません。契約締結後に提供します。
111	資料2 業務委託仕様書	8	2.1. 本業務の委託範囲	移行対象コンテンツ約4.8万件の「品質改善」について、全件に対しアクセシビリティ適合チェックや文章の再構成を実施する必要がありますでしょうか。 あるいは本市側で選別した重要ページのみが対象でしょうか。	移行対象コンテンツ約4.8万件の「品質改善」については、重要ページに限定するのではなく全件を対象とする想定です。アクセシビリティへの配慮や文章表現の見直し等も含め、利用者利便性の観点から全件に対して実施してください。
112	資料2 業務委託仕様書	8	2.1. 本業務の委託範囲(3)	検索機能の強化が掲げられていますが、検索エンジンは受注者が選定・構築するものに包含されるものと理解してよいでしょうか？ もしくは、市が別途提供する基盤を利用する制約はありますか？	前者のとおりです。
113	資料2 業務委託仕様書	10	2.2.1 委託期間	運用保守業務の費用支払いは年次契約での年払い想定でしょうか、それとも月次支払いでしょうか。	運用開始後5年間の運用保守業務は当初契約に含まれます。また、支払については年次払いを基本としますが、業務委託契約書第39条に基づく部分払により、半期や月次払いも可能です。
114	資料2 業務委託仕様書	11	2.2.2 スケジュール(予定)	令和9年度第1四半期に予定されている「他システム連携テスト」は、共通公文書管理サービス側の開発完了が前提となりますでしょうか。スケジュールリスクの確認のため、ご教示ください。	ご認識のとおりです。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
115	資料2 業務委託仕様書	11	2.3. 構築及び運用保守工程の役割分担	構築工程において、24区の広報担当者等との個別調整や合意形成(説明会・ヒアリング等)を受注者が支援する業務は含まれますか。	含まれます。
116	資料2 業務委託仕様書	17	3.1.1 ホスティング環境	「Microsoft Azureベースのクラウド環境」との記載がありますが、AWS、GCP等の他クラウド基盤での提案は可能でしょうか。	項番29の回答のとおりです。
117	資料2 業務委託仕様書	18	2.5.2. AIの活用に関する提案	コンテンツ移行や検索性向上(自動要約・タグ付等)のため、指定の「やさしい日本語生成ツール」以外の生成AIを、受注者の業務支援目的で活用する提案は可能でしょうか。 また、その際の職員による確認フローの要件はありますでしょうか。	受注者の業務支援目的の生成AIについては業務委託仕様書「特記仕様書」生成AIの利用規定を順守いただく必要があります。これにかかる確認フローを含む詳細は「大阪市生成AI利用ガイドライン 別冊:業務受託事業者等向け生成AI利用ガイドライン」に記載しておりますのでご確認ください。 【URL: https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000623850.html 】
118	資料2 業務委託仕様書	24	3.3.2. デザイン (2)	新システムでは24区のトップページデザインを統一する方針ですが、各区固有のカラー設定やバナー配置、独自メニュー設置等、どの程度のカスタマイズ(自由度)を許容する想定でしょうか。 (「統一感」と「独自性」のバランスを確認したいため)	24区トップページはデザインを統一する方針ですが、その前提のもと、一定のカスタマイズは許容する想定です。具体的には、区固有のアクセントカラー設定、一部所定枠内でのバナー差替え、所定枠内での区独自メニューの設置等を想定しています。 統一すべき要素と、各区が変更可能な要素の切り分け、許容範囲は、要件定義の中で確定します。仕様書やデザインガイドラインに沿った上で、「統一感」と「独自性」のバランスに配慮した具体的なご提案をお願いします。
119	資料2 業務委託仕様書	26	3.4. 機能要件における留意事項	運用期間中のウェブアクセシビリティ適合試験(JIS X 8341-3:2016準拠)について、毎年どの程度のページ数に対して実施することを求められますか。	運用期間中のアクセシビリティ適合試験は、改訂が見込まれている次期JIS X 8341の基準に基づき、毎年40ページ程度に対しての実施を想定しています。
120	資料2 業務委託仕様書	20	3.2.2 他システム連携	共通公文書管理サービスのAPI仕様書(起案・供覧API、文書情報取得API、差替えAPI等)は提供または貸与されますでしょうか。	検討段階のため本調達における確定した仕様ではありませんが、参考に資するものとして貸与資料としてご用意します。
121	資料2 業務委託仕様書	20	3.2.2 他システム連携	大阪市統合プラットフォーム(ServiceNow基盤)のAPI仕様書・連携仕様書は貸与資料に含まれますでしょうか。	大阪市統合プラットフォーム(ServiceNow基盤)のAPI仕様書・連携仕様書は貸与資料に含まれません。
122	資料2 業務委託仕様書	35	5.2.7 移行要件	移行対象コンテンツのサンプルデータ(HTMLファイル、添付PDF等)は提供いただけますでしょうか。移行方式検討のため必要です。	サンプルデータの提供はありませんので、現在本市のホームページで公開されているコンテンツよりご検討ください。
123	資料2 業務委託仕様書	35	5.2.7 移行要件	移行対象約9万ページのうち、移行不要な「削除対象コンテンツ」のリストは貴市で事前作成されますでしょうか。移行作業量の明確化のため確認させてください。	移行対象のうち、公開終了を予定している移行不要コンテンツのリストは本市で事前作成します。 なお、そのうえで受注者においても必要なページを精査し、不要なコンテンツの削除等、市にとって最適なページとなるよう提案してください。
124	資料2 業務委託仕様書	47	5.4.1 ヘルプデスク	現行システムにおけるヘルプデスクへの問合せ実績(月平均件数)をご教示ください。体制計画の精度向上のため必要です。	年間問合せ件数の実績は本書図表5.4.1.1の項番19のとおりです。
125	資料2 業務委託仕様書	44	5.4 運用作業	「軽微なプログラム改修」の具体的な工数基準(例:○人日以内、○○円以内等)をご教示ください。運用保守費用の見積精度向上のため必要です。	具体的な工数はお伝え出来ませんが、作業としては一部ページに対する画像の差し替えやバナーサイズの修正、ボタンの追加、計測タグの修正などを想定しています。
126	資料2 業務委託仕様書	45	5.5 保守作業	現行システムの年間障害発生件数の実績(直近1~2年分)をご教示ください。保守計画の参考とさせていただきます。	現行システムの障害発生は運用に影響を及ぼさない程度の軽微なものが年1~2回程度です。
127	資料1 入札説明書	2,9	4(5)・14(14)	「令和6年度要件定義等支援業務委託」受注者及び関連業者の参加/再委託不可の適用範囲について、具体的な判定方法(関連業者の確認方法)をご教示ください。	様式3 資本関係・人的関係等に関する調書により確認します。
128	資料2 業務委託仕様書	4	1.3. 現行システムの課題 (2) コンテンツの課題	「④外国語や「やさしい日本語」に対応したコンテンツが少ない」について、専用翻訳としたい言語について教えてください。	本件の趣旨は、現行の「専用翻訳ページ+機械翻訳」では全コンテンツを十分にカバーできていないため、新システムでは機械翻訳機能と「やさしい日本語」生成ツール等の導入により、職員負担を軽減することにあります。そのため、新システムで「専用翻訳(人手翻訳)」として指定する言語は想定していません。
129	資料2 業務委託仕様書	6-7	1.4/1.3	セミパーソナライズ/レコメンド等の実装は必須要件でしょうか。必須の場合、対象箇所・ロジック方針・同意/データ保存方針をご教示ください。	セミパーソナライズ機能およびレコメンド機能は、仕様書(別紙1 機能一覧)のとおり必須要件です(セミパーソナライズはトップページでの表示を想定)。レコメンドの具体的な算出方法(ロジック)や、閲覧履歴等の利用に関する同意取得方法(同意/拒否の手段)、データの保存範囲・保存期間・保存場所については現時点で本市として指定していないため、関係法令・ガイドラインおよび本市の個人情報の取扱いに適合する前提で、受注者提案および協議の上決定します。
130	資料2 業務委託仕様書	8	2.1 / (2)自動翻訳	自動翻訳(やさしい日本語含む)について、対象言語、切替UI要件、用語統一/品質担保(辞書等)の方針をご教示ください。	自動翻訳(やさしい日本語含む)の対象言語、切替UI、用語統一/品質担保方針は、現時点では未確定です。辞書機能やレビュー運用の要否を含め、要件定義で協議の上決定します。
131	資料2 業務委託仕様書	8	2.1 / (5)アクセス解析	アクセス解析・ダッシュボードについて、指定ツールの有無、横断計測の対象範囲(ドメイン/サブドメイン/外部CMS外)、同意管理方針をご教示ください。	アクセス解析・ダッシュボードについて、指定ツールはありません。現在使用しているツールでの横断計測範囲(ドメイン/サブドメイン)は以下のとおりです。 ・ http(s)://city.osaka.lg.jp/ ・ http(s)://www.city.osaka.lg.jp/ ・ http(s)://sc.city.osaka.lg.jp/ ・ http(s)://www.sc.city.osaka.lg.jp/ また、同意管理方針(Cookie同意等)は、法令・ガイドラインに沿って要件定義で確定します。
132	資料2 業務委託仕様書	8	2.1(1) 災害時ページ切替	災害時ページ切替機能について、切替条件、対象ページ、切替所要時間、復旧手順/訓練要否をご教示ください。	災害時ページ切替は、発災時に市災害対策本部の開設にあわせて市・各区トップページを手動により切替えています。災害時ページはトップページのみです。なお、例年訓練を実施しているため、デモ環境において切替できる環境を提供ください。
133	資料2 業務委託仕様書	15	2.4. 構築及び運用保守工程における成果物 項番20	貴市側で実施する「受け入れテスト(UAT)」について、テスト仕様書は委託側で作成する想定でしょうか。	受け入れテスト(UAT)は工程上は運用テストに含まれているため、テスト仕様書は受注者が作成します。なお、受け入れテストのシナリオや業務フローについては本市から情報提供を行います。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
134	資料2 業務委託仕様書	15	2.4.1(26)	成果物「コーディング設計書」について、記載粒度(必須項目)や代替(ディレクトリ図)の可否条件を確認したいです。	求める内容は仕様書のとおりです。また、製品によって提示できる情報の粒度は変わると想定していますので、具体的な内容は契約締結後、協議の上決定します。
135	資料2 業務委託仕様書	18	3.1. 調達対象となる機能要件 (1) 機能要件の概要	「機能一覧」に記載された必須項目である要件について、「実現不可」と回答したものの委託業者として選定された場合、その「実現不可」とした機能はどのような扱いとなるか教えてください。もしくは「実現不可」と1つでも記載した場合は委託業者として選定されないなどあれば教えてください。	評価方法は評価基準に従います。また、必須機能の実現可否が×の場合にただちに失格となるものではありません。必須機能は充足する必要がありますが、これは機能そのものではなく、機能が求める目的を果たしているか、という観点で評価します。すなわち、記載の機能と同等の要件を満たす場合や、当該機能を別の機能に集約し、実質的に要件を満たす場合、システムの特性から機能として設けなくても要件を満たす場合などが考えられますので、構成に応じ、その旨を備考に記載したうえでご提案ください。
136	資料2 業務委託仕様書	19	3.2. 他システム連携要件	各種連携先システムについて、事前の連携テスト実施を目的とした検証環境は用意いただける想定でしょうか。	ご認識のとおりです。
137	資料2 業務委託仕様書	19	3.2.1. 大阪市オープンデータポータルサイト	現時点では、項番1～2のデータファイルを本システム側に一定周期で配置し、そのデータファイルを大阪市オープンデータポータルサイト側が取得するという想定でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。具体的な周期や取得方法は別途協議の上決定します。
138	資料2 業務委託仕様書	20	3.2.2. 大阪市統合プラットフォーム	連携手法は手動(大阪統合プラットフォームからマスターデータを手動エクスポートし、そのマスターデータを本システムに手動インポートする等)でも良いでしょうか。また、手動連携がNGで、API連携を想定されている場合、APIは大阪市統合プラットフォーム側で用意いただける想定(本システム側はそのAPIを利用してデータを取得するイメージ)でしょうか。	項番18の回答のとおりです。
139	資料2 業務委託仕様書	22	3.2.3. 共通公文書管理サービス	本システム(CMS)側でコンテンツを作成した際に、自動的に「共有公文書S(ServiceNow)」側で決裁文書が作成される想定でしょうか。また、そのAPIが項番1の想定でしょうか。	ご認識のとおりです。
140	資料2 業務委託仕様書	22	3.2.3. 共通公文書管理サービス	項番1～3のAPIについて「共有公文書S(ServiceNow)」側で用意いただける想定(本システム側はそのAPIを利用してデータを送信・取得するイメージ)でしょうか。	ご認識のとおりです。
141	資料2 業務委託仕様書	22-23	3.3.1(1)	「原則6階層以内」「60秒以内到達」の評価方法(代表タスク、計測条件、成功基準、検証主体)をご教えてください。	「原則6階層以内」「60秒以内到達」について、本市として具体的な評価方法は定めていません。本要件は、階層が深くなり過ぎない情報設計とし、利用者が目的の情報に過度な負担なく到達できる導線を確保する趣旨です。測定シナリオや前提条件等は、提案いただくことを妨げません。
142	資料2 業務委託仕様書	22	3.3.1(1)	24区の基本メニュー共通化について、現時点での共通メニュー案の有無、案作成主体(市/受注者)、合意プロセスをご教えてください。	現時点で本市として確定した24区の共通した基本的なメニュー案はありません。現行の課題や共通化の目的を踏まえ、受注者において専門的知見や他自治体事例等を基に、本市の課題解決に資する形で提案してください。提案内容は当局(関係部署・24区)と協議の上、必要な調整を行いながら合意形成し、確定します。
143	資料2 業務委託仕様書	24	3.3.1(4)	「マシリーダブル」要件について、必須とする構造化仕様(例:schema.org、OGP、JSON-LD等)や優先順位の指定はありますか。	「マシリーダブル」要件として必須とする構造化仕様は指定しませんが、schema.org、JSON-LD等は一例としてお考えいただいで結構です。優先順位・対象ページ範囲は受注者提案を踏まえ本市と協議の上決定します。
144	資料2 業務委託仕様書	25	3.3.2(4)(6)	PC幅1200px、本文16px、UD新ゴ等の指定は「必須固定」か「提案により変更可」かをご教えてください。	仕様書に「基本とするが、可読性・視認性に優れる場合は提案のうえ使用可」とあるものは提案により変更可能です。本文16pxは維持してください。変更提案時は、可読性・視認性が向上する根拠(比較や理由)を添えてください。
145	資料2 業務委託仕様書	25	3.3.2(5)	メインカラーはロゴ改定の有無で変動とありますが、ロゴ改定の予定有無と決定時期をご教えてください。	現時点ではいずれも未定です。
146	資料2 業務委託仕様書	26	3.3.3	定型テンプレートの件数内訳(各テンプレの現行ページ数等)をご提示いただけますか。追加テンプレート作成要否の判断基準も確認したいです。	各テンプレートにより作成している現行ページ数(未公開ページを含む)は、令和8年2月12日時点で仕様書記載順に、2件、141件、268件、728件、685件、92件、228件、415件、130件、132件、90件、236件、325件、34件、3,186件、3,689件、601件です。追加テンプレートの作成要否は本書3.3.3のとおり、所属横断で公開される内容の入力規則を整え、統一感と理解しやすさに資することを判断基準とし、移行時のコンテンツ精査(本書5.2.7(3)移行作業)にあわせてコンテンツ種別に応じたテンプレート化(または目的に合致する代替機能)の実装を提案してください。
147	資料2 業務委託仕様書	27	4.1.3	職員側ブラウザはEdgeが標準との記載ですが、CMS編集画面/研修環境のサポート対象ブラウザ・端末範囲(Edge以外、スマホ等)を確認させてください。	最低限、WindowsPCからEdgeを用いた接続ができれば問題ありませんが、Google Chromeからもアクセスできるとなるとよいです。スマホについては利用しません。
148	資料2 業務委託仕様書	29	5.1.2. プロジェクト管理	各種管理について、backlog等のプロジェクト管理ツールを利用することは可能でしょうか。	利用可否はクラウドサービス利用ガイドラインに照らし判断します。
149	資料2 業務委託仕様書	36	5.2.7. 移行要件 (1) 移行・切替に関する前提条件	⑦に記載の移行対象について、(ア)(イ)(ウ)それぞれのどのような形式で提供いただける想定でしょうか。 例)(ア):CMSからエクスポートしたCSV等のコンテンツデータ、(イ):ファイルデータ形式、(ウ):HTMLデータ形式	移行対象(ア)(イ)(ウ)の提供可能な範囲・形式は、現行システムの機能・制約を踏まえ、提供可能なものを協議の上決定します。
150	資料2 業務委託仕様書	36	5.2.7(1)⑦ (PDF/office多数)	添付ファイル(PDF/Office等)のアクセシビリティ改善は本業務範囲でしょうか。範囲の場合、優先順位付けや対応方針(代替提供含む)をご教えてください。	項番24のとおりです。
151	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7(3)⑥	アクセシビリティ適合確認について、(a)適合宣言の要否 (b) 評価範囲(全ページ/テンプレ/サンプル) (c) 第三者監査要否をご教えてください。	本仕様の趣旨は、コンテンツ移行に伴い、アクセシビリティが不十分なページを洗い出して改善し、市民が見やすく分かりやすいページに整理することです。(a)本市として対外的な適合宣言(適合表明)の提出・公表は必須としていません。(b) 移行後に市民が閲覧・利用するコンテンツは原則「全件」を対象にチェック・修正してください(テンプレート確認のみ/サンプルのみでの担保は不可)。(c) 第三者監査は必須要件ではありません。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
152	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7(3)⑥	詳細な時期は不明ですが、来年度JISの改訂が行われるという情報があり(WCAG2.2)、アクセシビリティ対応について、「JIS X 8341-3:2016(WCAG2.0)の適合レベルAAに準拠」で問題ない場合、JISの改訂後に再度、アクセシビリティについて検査しなおす等の対応は必要かご教示ください。	本仕様では、JIS X 8341-3:2016で求める事項に加え、WCAG 2.1及び2.2で追加された適合レベルA/AAの達成基準についても、移行対象コンテンツの適合確認と適合箇所は是正を求めています。一方、将来JISが改訂された場合の追加的な追従(改訂後JISに基づく再検査・再改修)については、本契約の必須範囲としては求めず、必要が生じた場合は別途協議とします。
153	資料2 業務委託仕様書	41	5.2.9. その他留意事項 (1) 各工程における留意事項 項番15	重点監視体制運用は、令和10年6月までの期間を想定しておりますでしょうか。	本書5.2.7(7)④のとおり、1か月間は継続するものと想定しておりますが、不具合が解消しない場合はこの限りではありません。
154	資料2 業務委託仕様書	52	6.1 / 非機能	オンライン応答時間3秒以外の性能指標(LCP等)や、災害時アクセス集中の想定(同時接続、RTO/RPO等)をご教示ください。	オンライン応答時間はLCPと同義です。また、災害時にアクセス集中した場合の同時接続数は想定できませんが、相当高負荷になると考えられますので、実運用時は軽量版サイトに切り替えるなどして対応することが想定されます。RTOについては本書図表6.1 サービスレベル項目(案) 項番5のとおり、RPOについては、バックアップは日次で取得しているため、原則前日分のデータは復旧可能と考えております。
155	資料2 業務委託仕様書	54	7.1 再委託	「主たる部分」の解釈(総合的企画/業務遂行管理/技術的判断等)に該当する作業範囲の例示をご教示ください。	「主たる部分」は、一般に(1)業務全体の総合的企画・方針決定、(2)進捗/品質/課題管理等の統括、(3)要件定義・基本設計等の技術的判断を伴う中核業務等を指します。
156	資料2 業務委託仕様書	56	生成AI利用特記仕様書	生成AIを業務支援で利用する場合の事前確認手続き(提出様式、承認リードタイム、許容ツール/環境)をご教示ください。	大阪市ホームページに掲載している「別冊:業務受託事業者等向け生成AI利用ガイドライン」に、事前確認に必要な提出様式および手続きの流れを記載しております。当該様式において、利用予定のAIツールや利用環境をご記入いただき、その内容をもとに本市にて利用可否を判断します。なお、承認リードタイムにつきましては、内容によって確認に要する時間が変わるため、固定的な期間は設けていません。
157	資料2の別紙1 機能一覧	1	17	「自動的に付加」について、例えばコンテンツのタイトルに設定したものがOGPタグのタイトルに自動的にセットされるようなイメージでしょうか。	ご認識のとおりです。
158	資料2の別紙1 機能一覧	1	22	コンテンツ作成時に添付ファイルを指定する際に、その添付ファイルがオープンデータ、又は「自治体標準オープンデータセット」なのかどうかをフラグ設定でき、そのコンテンツが(添付ファイル)がホームページ上で、オープンデータ、又は「自治体標準オープンデータセット」だと分かるような形で掲載されるような仕組みのイメージでしょうか。	ご認識のとおり、添付ファイルに対して「オープンデータ/自治体標準オープンデータセット」等の区分をCMS上で設定でき、サイト上で利用者に判別可能な表示(アイコン、ラベル、注記等)を行える仕組みを想定しています。表示方法・対象範囲・既存ファイルへの付与方法は受注者提案を踏まえ協議の上決定します。
159	資料2の別紙1 機能一覧	2	59	キーワード検索した場合、PDF、WORD、EXCELファイル等のタイトルが対象範囲でしょうか。それともファイルの中身も対象範囲となりますでしょうか。	検索対象は、PDF、Word、Excel等の添付ファイルについても、ファイル名やタイトル等のメタ情報に限らず、原則としてファイル本文に含まれる文字列を含めた情報です。
160	資料2の別紙1 機能一覧	2	63~67 サイト内検索 (サジェスト)	サジェスト機能は入力表示(キーワードサジェスト)に留まるものでしょうか？ もしくは、特定のキーワードに対し、推奨ページを直接表示する等の高度な実装も想定されておりますでしょうか？	サジェスト機能は、入力補助(候補語表示)を必須とし、高度機能は任意としています。
161	資料2の別紙1 機能一覧	3	88、89 閲覧支援(音声読み上げ)	閲覧支援機能(音声読み上げ等)について、本市側で契約する外部ASPサービスの利用を想定されておりますか？ それとも受注者独自実装、または提案システムへの標準機能をもちめられていらっしゃいますでしょうか？	利用者端末側で音声読み上げ機能が普及してきていることから、本件の音声読み上げ対応は、本市及び受注者側いずれにおいても外部ASP等の読み上げサービスを別途契約して提供することは想定していません。 利用者端末のスクリーンリーダー等で画面内容が適切に読み上げられるようにすることが要件です。 なお、追加提案として閲覧支援の補助機能を提案いただくことは妨げませんが、当該機能の有無にかかわらず、利用者端末の支援技術で適切に利用できることを前提とします。
162	資料2の別紙1 機能一覧	3	AIチャットボット	「業務マニュアル等、HPコンテンツ以外の情報も学習ソースとして取り込み、最適な回答内容を生成できること。」とありますが、その他FAQ等を想定しております。それ以外に取込が必要なる学習ソースはございますでしょうか。また、画像や表などの文章以外のデータはございますでしょうか。	学習ソースは、HPコンテンツに加え、本市が指定する各種FAQやマニュアル・ガイドライン等のドキュメント等を想定していますが、画像・表等の非テキストデータの取扱いは必須していませんが、利用者の検索体験向上の有効性を踏まえ、採用する場合は提案いただいで構いません。
163	資料2の別紙1 機能一覧	3	AIチャットボット	「質問に対して回答が学習ソース(HPコンテンツ等)にない場合、AIにより関連情報から回答を生成、又は適切に回答できない旨を応答すること。」とありますが、基本的に学習ソース以外のコンテンツから回答する事は無い想定しております。関連情報のイメージがあればご教示いただけますと幸いです。	「関連情報」も学習ソースに含まれます。ここでは、ユーザーの検索語句が学習ソース内の記述と直接一致しない場合であっても、AIの一般的な語彙知識・文脈理解を用いて、ユーザーの意図を汲み取り、最終的にHP内の正しい情報を回答する挙動を想定しています。
164	資料2の別紙1 機能一覧	3	AIチャットボット	チャットボットの想定利用数(月間メッセージ数:1質問=1メッセージ)についてご教示いただけますと幸いです。 ※ツールの費用に影響するためのご質問となります。	想定利用数(月間メッセージ数)は現時点では未定です。提案時は、単価体系・上限設定・超過時の扱い等を明示してください(契約上限等は別途協議)。
165	資料2の別紙1 機能一覧	3	AIチャットボット	AIチャットボットの生成AI等の学習ソースとなるコンテンツのボリュームについてご教示いただけますと幸いです。 ・ファイル種別(PDFなど) ・ファイル数(100ファイル、など) ・1ファイルあたりのページ数(20ページなど) ※ツールの費用に影響するためのご質問となります。	学習のソース種類は項番162の回答のとおりです。コンテンツボリュームは現時点では未確定ですが、最低限公開コンテンツの情報は常に回答へ反映されるようにしてください。提案時は、ボリューム変動に対応できる料金・性能設計(上限/段階課金/追加学習の運用)を示してください。
166	資料2の別紙1 機能一覧	9	287	ユーザが所属するグループを詳細に(CMS上で必要となる権限ごとに(大阪市広報サイトを含む)教えてください。 ※管理者、大阪市担当、〇〇区担当など	グループは、基本的に組織の最小単位(課・グループレベル)ごとに存在します。ユーザーは課・グループに1つずつ製作者・中間承認者を、所属(局・区レベル)に1つずつ最終承認者を設定しています。権限はユーザーごとに異なりまます。大阪市広報サイトに関しては、上記のIDに加え、総務局の電子公報担当に編集者・承認者を1つずつ設定しています。

項番	資料名称	該当頁	該当項目	質問内容	回答
167	資料2の別紙1 機能一覧	11	328 災害時の軽量版切り替え	子サイト(24区等)の軽量版切り替えについて、各区での個別のUI設計(表示の優先順位の差異等)が必要でしょうか?もしくは、全区で共通のテンプレート(or 市トップ共通のテンプレート)と同じする想定でしょうか?	子サイト(24区等)の軽量版切替については、基本的には全区で共通のテンプレート/共通項目での運用を想定しています。一方で、区ごとの業務・情報提供の特性により、一部の表示項目や優先順位等に差異が生じる可能性があります。最終的なUI設計(共通化範囲・個別化範囲)は、運用負荷と緊急時の即応性を最優先に、本市と協議の上決定します。
168	資料2の別紙5 非機能要件定義書	3	(3) 利用者数	「システム利用者数:約1,600名」、「システム管理者:約10人」について、これらはCMSを利用する人数を指しておりますでしょうか。指していない場合、具体的にどのシステムを利用する人数を指しているか、またCMSを利用するID数を教えてください。加えて、大阪市広報サイトを運用するうえで必要なID数を教えてください。	利用者数は組織単位で付与しているIDの数です。IDは組織の複数担当者で共用するため、利用する実人数とは異なります。ID数については項番166の回答も合わせてご確認ください。
169	資料2の別紙5 非機能要件定義書	4	(2) 応答時間及びパフォーマンス要件	バッチ処理について、提供形態(例:SaaS形態でのCMS)に伴い午前0時に開始できないものについては時間外でも良しとしてよろしいでしょうか。または、午前6時まで終了すればよろしいでしょうか。	項番43の回答のとおりです。
170	資料2 業務委託仕様書	25	3.3.2. デザイン (6)	フォントは無償利用可能なUDフォントである「BIZ UDPGothic」を採用してもよろしいでしょうか	BIZ UDPゴシックは、仕様書の「可読性の高いサンセリフ体を基本とする」という要件を満たすものと考えますので、提案は差し支えありません。
171	資料2 業務委託仕様書	37	5.2.7. 移行要件 (3)移行作業 ④	仕様を満たすためには、全ページのリダイレクトを設定する必要がありますという認識でよろしいでしょうか。また全ページのリダイレクトの期間は、半年間を想定しておりますがよろしいでしょうか。	本要件の趣旨は、CMS外コンテンツを新システム移行後も従来どおり本市サイトとして利用でき、検索も含めて継続できる状態を担保することです。また、リダイレクトの対象範囲は、市民のブックマーク切れによる混乱およびコールセンターへの入電を防ぐため、原則として全ページを対象とします。技術的に1対1の対応が困難なページがある場合は、親カテゴリ(ディレクトリ単位)への転送等、404エラーを発生させない代替案を提示してください。リダイレクトの実施期間は1年間を想定しています(行政手続きの年次サイクルを踏まえ、前年度の利用者がブックマーク等からアクセスする可能性を考慮)。